

# アズミトガリネズミ

*Sorex hosonoi* Imaizumi

## モグラ目トガリネズミ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 準絶滅危惧

### 選定理由

県内では、白山地域の山地帯から高山帯を中心とする限られた地域に分布する。日本固有種。

### 形態

トガリネズミ類では中型で、尾が長い。背面が暗褐色、腹面はより淡色。トガリネズミ類ではシントウトガリネズミよりやや小型で尾が長く、体重約4.5g前後、頭胴長46～66mm、尾長47～52mm、後足長10.6～12.2mm。頭骨全長は通常16.5mm以下でシントウトガリネズミより著しく小さい(阿部ほか2005)。シントウトガリネズミの後足長は通常12mm以上あるが(子安1995、子安・林1997)、白山地域で採集されたアズミトガリネズミの10頭の計測結果では後足長は10頭平均11.4mmであった(林1999)。また、手掌(前足)の長さは6.2～6.9mm、幅は1.5～1.9mm(子安1998)。

### 国内分布

本州中部の北・中央・南アルプス、奥秩父、志賀山などに分布する。

### 県内分布

本県では1990年10月3日、白山釈迦新道(標高約950m)で採集され、白山地域(石川県)が日本における新たな分布地となった(子安ほか、1993)。その後、白山高山帯の調査によって11個体が採集され(子安・林1997)、さらに白山自然保護センターの収蔵標本から3個体確認された。これら15個体の標本のうち14個体は白山の亜高山帯から高山帯のものであった。県内における分布は2メッシュであった。

### 生態

亜高山帯から高山帯にかけての針葉樹林帯、草原帯に生息する。生態については明かではない。白山高山帯の繁殖期は、7～9月で、胎仔数6(1例)が知られている(子安・林1997)。

### 生息地の条件

主に白山地域の亜高山帯～高山帯。

### 生存の危機

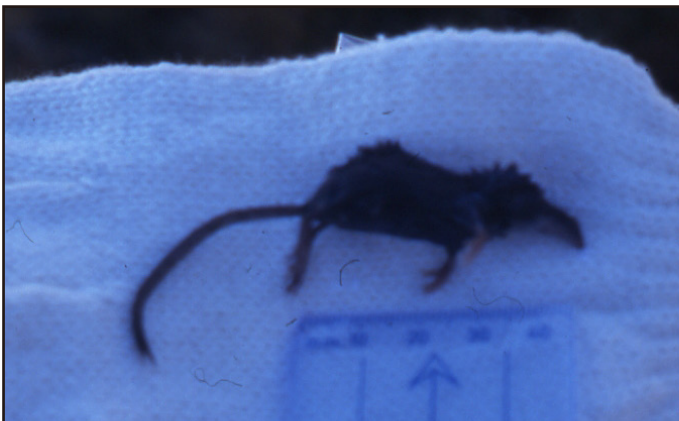
白山地域の山地帯、亜高山帯、高山帯の保全が継続的に必要。(A)

### 特記事項

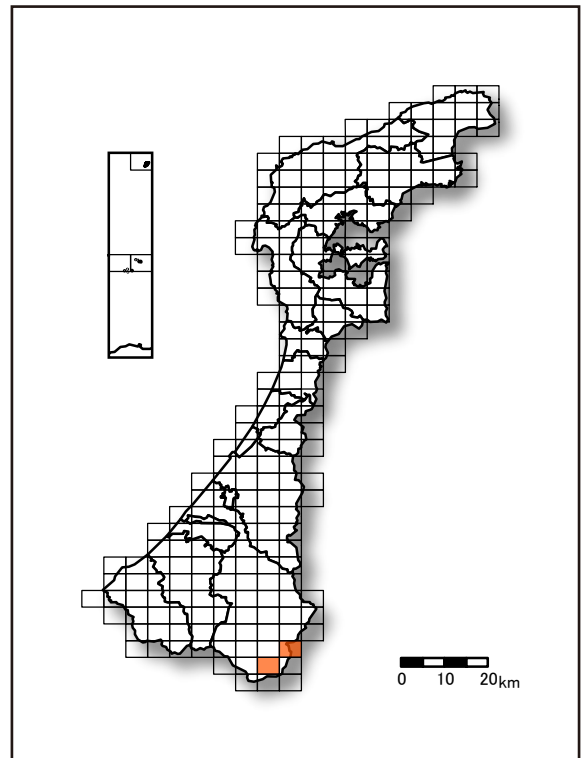
白山の地域個体群の亜種記載の検討が望まれる。

### 参考文献

- 子安和弘 1995. 白山のトガリネズミ類. はくさん22. 2-5. 石川県白山自然保護センター.
- 子安和弘 1998. 日本産トガリネズミ亜科の自然史(阿部永・横畑泰志 食虫類の自然史), 201-267. 比婆科学教育振興会(広島県庄原市)
- 子安和弘・原田正史・野崎英吉 1993. 石川県白山麓におけるトガリネズミの捕獲記録. 石川県白山自然保護センター研究報告. 20, 33-34.
- 子安和弘・林哲 1997. 白山高山帯における野生小哺乳類. 石川県白山自然保護センター研究報告. 24, 23-32.



写真提供者: 石川県白山自然保護センター



県内の分布